

mottECO（モッテコ）普及推進モデル事業について

1 事業概要

(1) 目的

モデル事業協力店において、利用者が食べきれない場合に、専用容器（以下「mottECO 容器」）を用いて食べ残した料理を持ち帰ってもらうことで、事業系食品ロスの削減を図るとともに、区民及び事業者の食品ロス削減に向けた意識啓発を図ることを目的として実施する。

〔注〕mottECO（モッテコ）

環境省が提唱する、飲食店で食べきれなかった料理を利用者の自己責任で持ち帰る行為の愛称

(2) モデル事業協力店舗

区内飲食店 61 店舗

業態：居酒屋 30 店、和食 8 店、中華 4 店、イタリアン 4 店、洋食 3 店、その他 12 店

(3) 経過及びスケジュール

令和 5 年 4 月	mottECO 普及コンソーシアム(以下「コンソーシアム」)に加入
7 月	区民への mottECO に関する普及啓発開始 mottECO FESTA 2023 開催 (7/24、ホテルメトロポリタンエドモント)
8 月	モデル事業協力店の募集開始
10 月～12 月	10 月食品ロス削減月間から 12 月末まで、61 店舗でモデル事業実施
2 月	モデル事業結果議会報告・公表 令和 6 年度以降もモデル事業協力店の拡充に向け、普及啓発を進める。

〔注〕mottECO 普及コンソーシアム

mottECO 導入のための調査・検討・課題整理、事業継続のためのスキーム検討や関係主体との調整等を行う団体。令和 5 年度は、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、ロイヤルホストホールディングス (株)、SRS ホールディングス (株)、(株)アレフ、日本ホテル (株)、(株)京王プラザホテルの 6 社と杉並区で構成されている。

2 協力店舗アンケート結果

(1) 回答数

46 店舗/61 店舗 (回答率：75.4%)

(2) 協力店舗全体での食品ロス削減量 (推計)

46 店舗の容器使用数 304 個

容器平均使用数 $304 \text{ 個} \div 46 \text{ 店舗} = 6.6 \text{ 個}$

61 店舗の食品ロス削減量 (推計) $6.6 \text{ 個} \times 61 \text{ 店舗} \times 250\text{g} \ast = 100.65\text{kg}$

※みなし量：コンソーシアムによる直近サンプル調査及びアンケートより算出

(3) 店舗側意見等

○利用者の状況

- ・セットやコースより、単品での注文時に持ち帰る利用者が多く、持ち帰った料理は、「ご飯もの」「惣菜」「揚げ物」が多い。
- ・事業に対する利用者の反応は、64%が「好評・概ね好評」と回答。
- ・自己責任での持ち帰りについて、96%の店舗で「理解・概ね理解」を得られたと回答。

○店舗の状況

- ・事業実施による食品ロス発生量の変化について、「減少」が60%、「変化なし」が28%、「食品ロスがない」が12%で、「増加した」との回答はなかった。

○店舗側自由意見（一部抜粋）

- ・この事業により今まで以上にお持ち帰りいただけた。容器も素晴らしく、今後も継続して使用したい。購入も可。
- ・注意喚起チラシがあったので、お客様自身が持ち帰りをしてくれて、スタッフの手間が省けた。
- ・ハーフサイズ等メニューの工夫やテイクアウトもあり、もともと食べ残しがほとんどないので、持ち帰りを希望するお客様はほぼいない。